



第21回総代会を開催しました

県事協第21回総代会を、8月10日互助組合会館3F中会議室にて開催いたしました。

感染拡大の波が収まる兆しも見えない中ではありましたが、国・県等の行動制限が発令されていないこと、参加人数が限られ、座席の間隔を十分に取れることなどを勘案したうえで開催を決断し、県内各地から地区の代表である総代にお集まりいただきました。

開会宣言・開会あいさつに続いて、来賓の教職員共済・福利厚生事務センター（学校生協）・県教職員共助会・県教職員互助組合・県教職員組合の代表の方々から、日頃の感謝と激励の言葉をいただきました（県教育庁教職員課は都合により欠席）。

引き続き、大隅地区の野田 浩幸さん（持留小）を議長に、南薩地区の立岡 邦健さん（別府小）を記録に選出し、第1号議案「事業経過・決算報告に関する件」、第2号議案「事業計画・予算案に関する件」、第3号議案「役員承認に関する件」が審議され、すべて承認されました。

今後とも「県下の学校事務職員が情報を共有・享受し広域的に連携する」という県事協の目的を果たせるよう、精一杯活動していきます。

なお、上記のとおり、総代会での承認を受けて、役員体制が変わります。

6年間、様々な業務を担当し、ここ数年は主に県費事務改善検討委員会の企画・運営に尽力してきた小隈 美香さん（西阿木名小・中）、4年間、総務担当理事として、各種機関会議や現状報告会の企画・運営・調整を担い、コロナ禍での苦労も多かった井上 早苗さん（安房中）、3年間、財務担当理事として、予算のやりくりだけでなく、各地区学校事務職員会との連絡窓口や文書作成・発送、諸会合等の会場確保まで、幅広く活動を支えてきた清藤 利裕さん（穎娃小）の3名が退任いたしました。

後任の理事役員として、鹿児島地区の山本 由紀子さん（武小）、始良・伊佐地区の谷村 裕子さん（蒲生中）、南薩地区の岩切 輝仁さん（川畑小）が選出・承認されました。

また、今年度の監事には、南薩地区の芝 彩奈さん（万世小）、北薩地区の鳴海 裕子さん（野田中）が選出されました。

今後とも、会員の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

【今年度新役員体制】

役職名	名前	地区	学校名	備考
会長	寄井田 雅裕	北薩	平尾中	
副会長	野崎 浩一	北薩	米ノ津中	
理事	谷村 裕子	始良伊佐	蒲生中	新任
	岩切 輝仁	南薩	川畑小	新任
	山本 由紀子	鹿児島	武小	新任
	城森 隆行	鹿児島	小山田小	
	柿元 健志	大隅	田代小	
監事	芝 彩奈	南薩	万世小	新任
	鳴海 裕子	北薩	野田中	新任



第2号議案が全会一致で承認されるの図

新旧理事役員の退任・就任のあいさつは、紙面の都合により11月発行予定の133号に掲載いたします。

第2回評議員会も開催しました

県事協第21回総代会に先立ち、第2回評議員会を同会場にて開催しました。

冒頭、会長より「爆発的なコロナ感染拡大があり、現状報告会を苦渋の決断で中止としたが、評議員会・総代会については、いろいろとご心配あると思うが、参加者数・会場の容量等を考慮したうえで開催させていただいた。県事協は2002年に発足して、現在県下600名弱の学校事務職員に各地区協議会単位でご参加いただいている。業務改善の流れや仕事内容の変化といった状況のなか、各地区の集合体である県事協をどのように運営していくか。今からお示する21年度の活動報告・22年度の活動計画をもとに忌憚のないご意見をいただければありがたい。」とのあいさつがありました。

引き続き協議では、総代会で審議される議案についての説明、県費事務改善検討委員会の進捗状況の報告、マニュアル等印刷サービスの計画提示などを行い、各地区評議員の皆さんに審議していただきました。

主な質疑・意見

Q 現状報告会のローテーションについて、今回のように中止の場合は、レポート発表を繰り延べせず計画どおりの年度で回していくという解釈でよいか？

また、繰り延べせず紙面発表等になった場合、それに対して質疑や意見をあげて、各発表地区から回答してもらうといったようなことは可能か？

A まずローテーションに関しては理事会としての議論はまだ済んでいないが、そのようにしたいと考えている。レポートの紙面発表等の後、どのようなことが出来るかについては、発表地区と相談しながら理事会で議論を進める。(会長)

この他にもさまざまな質疑応答・意見交換も活発に行われ、充実した会議になりました。

学校事務現状報告会は残念ながら中止

学校事務現状報告会については、県下各地区から120名以上の参加希望者が一堂に会して、鹿児島・日置両地区のレポート発表を受ける予定で、感染対策等も併せて準備を進めていました。

しかしながら、7月に入ってから爆発的な感染拡大が続き、収束の兆しが全く見えないため、7月29日に中止の判断をいたしました。

また、最近の感染の波の速さ・大きさから、10月14日の予備日においても、安全安心を担保することが難しいと判断し、今年度は完全に中止することにいたしました(中止の判断をお知らせする文書は県事協HPにも掲載中です。)

なお、レポート発表に関しては県事協HPでの公開を予定しています。

来年度こそ、不安なく、盛大に学校事務現状報告会を開催できるよう、まずは会員の皆様方が、少しでも元気に楽しく日々を過ごされることをお祈り申し上げます。



会場になる予定だった黎明館講堂
画像は黎明館HPより引用

認定マニュアル・実務手引書データをHPに掲載しました

「諸手当認定・電算マニュアル」「学校事務の実務手引書」の2021年度版データを、県事協ホームページの『会員のページ』内に掲載いたしました。県事協CDの配布によって、会員の皆様にお届けしたのと同じものではありますが、パスワード(県事協設立年度です)さえお忘れでなければ、どこからでもアクセス可能になります。ぜひちらっと覗いてみてください。

ブラウザの種類によっては会員ページに入れないことがあるようです。その場合はEdgeやChromeでアクセスしてみてください。

県事協ホームページへは、県教職員共助会ホームページのリンクページからアクセスしてください。

活動経過及び予定

7月25日	県費事務改善検討委員会	
8月3日	ホームページ更新	
8月5日	県費事務改善検討委員会	中止
8月10日	第2回評議員会・第21回総代会 学校事務現状報告会	中止
8月22日	県費事務改善検討委員会	
9月9日	理事会・常任委員会	
10月14日	理事会	
11月24日	理事会・第3回評議員会	

各地区の事務職員会等の紹介

大隅地区から

～大崎町の紹介～



大崎町は鹿児島県の東南部・大隅半島の東側に位置し、県庁所在地である鹿児島市からは約70km離れています。志布志市・鹿屋市・東串良町・曾於市と隣接しています。また畜産業や農業が盛んでふるさと納税の返礼品にはマンゴーやうなぎ、牛肉などが挙げられています。



大崎町のシンボルとしてあすばる大崎のカブトムシの像が有名です。大崎町ではこのカブトムシにちなんで小学生以下が参加できるカブトムシ大会も開催されていました。カブトムシ相撲など、コロナ禍前までは優勝賞品をめざして子どもたちが競い合っていました。



大崎町には小学校が6校、中学校が1校あり、それぞれの学校に事務職員が一人ずつ配置されています。支援室は1つで、月に2回学校事務支援室を開催しています。

毎月の手当認定はもちろん、2カ月に一回相互書類点検を実施し、お互いの学校の書類を点検しています。他にも日々の業務の中で出てきた疑問や困りごとなどを支援室で共有し、お互いの情報を共有しながら解決しています。

また、大崎町では給食費を学校が集め、給食センターに支払う体制をとっており、この給食費会計を事務職員が担当している学校がほとんどです。給食費を持ってくる方法も学校によってさまざまで学校独自に保護者の通帳から引き落としを設定している学校もあれば、子ども便で学校にお金をもってくる学校もあります。

小さな自治体なので、大崎町独自の業務に驚くこともありますが支援室のなかで少しでも事務の効率化を目指して情報を共有しています。

西之表市事務職員会の紹介

熊毛地区から

めっかりもーさん(種子島弁でこんにちは)、西之表市事務職員会です。

本会は小学校10校(兼務校1校含む)、中学校1校、支援室加配1名の計11名で構成されています。小規模校の多い西之表市ですが、1支援室なので、支援室は11名という超規模！11人11色のカラーで熱く楽しく研鑽を積んでいます。

支援室も研修会も同じ顔ぶれなので、混同しないようにしっかりメリハリを付けています。研修会は、テーマ研修とスキルアップ研修を設定し、全員が輪番でレジュメ作成と発表を担当します。スキルアップ研修は、個人にテーマは任されており、電卓を使わないといけなような住民税の研修から、ボールペンの最新事情まで。自分にはない切り口の発表で、毎回参加するのが楽しみです。今年度は、長らく制定に向けて取り組んでいた「西之表市立学校財務事務取扱規程」が、いよいよ現実の物になりそうで、手応えを感じています。

さて、西之表市の紹介をさせて下さい。西之表市はかつて「北種子」と呼ばれ、その名が表すように種子島の北部に位置しています。高速船ターミナルを抱え、種子島の海の玄関としての役割を担っています。もはや全国区となった「安納芋」や、サーフィン好きの芸能人がお忍びで訪れる「鉄浜海岸」など有名なものが多数あります。ですが、今回はニッチな西之表市を紹介します。さあディープ探検、西之表市！

生き人形「山の井様」(市指定文化財)

徳川家から島津家、そして種子島家に伝わった女性の等身大の人形です。側室の死を悲しんだ将軍が、その側室にそっくりの人形を作らせたとか。関節が入っているので、立つことも座ることも可能です。人間同様の扱いを受けていて、部屋をあてがわれ季節のお召し替えをしたり、行事には背負われて参加していた記録が残っているそうです。山の井様の制作時に側室は側にいたのかなど、色々考えるとちょっとホラーですが、山の井様はとても端正なお顔をしていて、元祖セレブ妻ってこんな感じかと現代の我々に伝えてくれます。現在は月窓亭にて展示されています。

芋焼き屋さん

焼き芋を売るのが焼き芋屋さん。ここ西之表市では、芋を搬入すると、焼き芋にしてくれる業者が存在します。そう、芋焼き屋さん。1kgあたりで値段が設定されています。業者ごとに焼き方にこだわりがあるので、焼き上がりの味も違うようです。

ラーメン

ご当地グルメで気になる食べ物と言えば、ラーメンですね。興味のある先生方も多いと思います。西之表市のスープは薄味が主流です。(異動者の大方の感想より)

是非、ご来島の上ご賞味いただきたいと思います。



ロケット灯台



高速船

鹿児島県教職員福祉事業連絡会からのお知らせ

鹿児島県教職員福祉事業連絡会は、教職員のための福利厚生事業を行っている、下記の5団体で構成する連絡会です。

公立学校共済組合鹿児島支部 鹿児島県教職員互助組合 鹿児島県教職員共助会
 鹿児島県学校生活協同組合 教職員共済鹿児島県事業所

それぞれの団体の事業計画や実施状況を年2回交流しながら、互いに事業の充実に役立てています。教職員の皆様方が、安心して学校等で働けるよう、今後も事業や活動を充実させていきます。

令和4年10月1日から
公立学校等で勤務する非常勤職員の方が
公立学校共済組合へ加入することになります

公立学校共済組合制度の適用範囲拡大に伴い、公立学校等で勤務する短時間勤務の補助事務員や学校司書などの非常勤職員のうち要件を満たす方は、令和4年10月1日から公立学校共済組合員となり、短期給付(健康保険)及び福祉事業が適用されます。(長期給付(年金)は適用除外)

- 要件 又は を満たす者
- 1 週間の所定労働時間・所定労働日数が常勤職員の4分の3以上である者
 - 1 週間の所定労働時間・所定労働日数が常勤職員の4分の3未満である者で、次のイ～ニを全て満たす者
 - イ 1週間の所定労働時間が20時間以上
 - ロ 賃金の月額が88,000円以上
 - ハ 学生でない
 - ニ 雇用期間が2か月超見込まれる

	～R4.9	R4.10～
健康保険	協会けんぽ	公立学校共済組合
厚生年金	日本年金機構	日本年金機構

具体的な事務手続等は改めてお知らせします。

公立学校共済組合鹿児島支部

学校生協からのお知らせ

まだまだ暑～い日々です。働く環境は整っても空調を回すと経費がかかるし…。なかなか大変ですね。

今年の夏、学校生協、教育用品で営業を強化している点のご紹介です。

図書館図書購入は教育用品で！

定価で、図書表紙のフィルムコートサービスをサビします(バーコード、図書分類シールを貼ってからコートするので納品後、登録すれば即貸出し可能です)。

フィルムコートサービスを受けない場合は、同程度のサービスを別に実施します(詳細は担当へ)

住宅取得促進事業

生協提携店15社の中から契約・着工すると1%～2%の範囲で割引、完成時に5万円のギフトカタログをプレゼントします。

学校生協組合員証(KGCカード利用促進)

指定工場で車検を受けて5%、JCB加盟店(なべしま、ガスト、モスなど)で食事をして3%割引など特典がいっぱいあります。ホームページで紹介しています。

社会貢献事業として子ども達の学びを支援します。

教育会館維持財団奨学金制度へ毎月5万円の支援、児童養護施設への図書寄贈を行います。

10月～11月に事務職員の皆様へ大きめのトートバッグを送付いたします。お使いください。

令和4年度後半もよろしくご支援をお願いいたします

編集後記

「来年度の状況がどうなっているかは分かりませんが、やってやれないことはない気がしないでもない今日この頃です。」これ、1年前の編集後記の結びなのですが...やれませんでしたね。現状報告会。随分軽い文章を書いてたなと反省中です。それはさておき、皆様、効率的に仕事していますか？私などは人事評価記録書に「Excelを活用し事務処理を効率化云々」と書いてしまっています。効率化をどう捉えるかは人それぞれですが、最近、県下の学校事務職員を襲った効率化の波といえば旅費管理ツールでしょうか。鉄道距離や運賃・施設名など手入力を要することも多く、使い勝手も良くない！という声が若干あるようです。ただ、ムダを省き円滑に速くという「効率化」が行き過ぎた、超便利なツールになってしまうと、旅費担当事務職員とは名ばかりの、思考しない「ツールのしもべ」になりはしないかと思ったり(しもべの誘惑はマニュアル類にも...)。そう考えると、絶妙に思考せざるをえない仕様になっているような気がしないでもない今日この頃です。やるね旅費管理ツール。徐々に進化しながら未永く運用されんことを...。それにしても、この旅費管理ツールへの前向きで、より良い関係を構築しようとする態度、誰か高く評価してくれないものかしら。 国